



# 徳島の将来を担う人財を共に育てよう!

将来に夢と希望を持ち、活力に満ちた若者を育てるために、職業観や勤労観を育むインターンシップ・職場体験学習の取組が注目されています。身近な地元の企業で「働く大人」と接し、「働くこと」の厳しさや楽しさ、やりがいなどを学んだ子どもたちは、地元に誇りや愛着を持ち徳島の将来を担う人財となります。人と人のつながりを大切にし、地域の絆を深めるインターンシップ・職場体験学習とともに取組むことを提案します。



## 1 インターンシップ・職場体験学習

地元に対する愛着や誇りを持つことにつなげることが大切である



## 2 地域社会に踏み出すお手伝い

実際の仕事を体験したい!  
学生に向けて企業PRができる



## 3 職業人とのふれあいやコミュニケーション能力

社会人としての基本的なマナーや言葉遣いなどの社会的スキルを身に付けることができた

学生ならではの新鮮なアイディアが吸収できた!



## 4 結果...



### 体験側

## 双方にメリット

教育機関との連携ができる

将来の後継者、担い手が育つききっかけになる

企業イメージの向上

進路を選択する態度や意欲が向上  
職場の活性化と若手社員の育成・成長

### 企業側

地域貢献  
社会貢献ができる

地域や取引先からの信頼度が上がる

採用のミスマッチの防止  
離職者を防ぐことができる



少子高齢化や労働人口の減少が加速する社会情勢において、人口の自然減ではなく社会減にも着目し、職場環境整備の取組が喫緊の課題となっています。

### 新聞記事



### 「インターンシップ・職場体験学習推進セミナー」を開催

とき 2013年2月27日(水)

次世代育成支援のための職場環境整備事業の一環として、行政・企業関係者・学校関係者・加盟団体・一般等、さまざまな立場の54名が一堂に会しました。

2013年3月28日 徳島新聞掲載

### 「一般事業主行動計画」を策定しよう!

■目標  
若年者に対するインターンシップなどの就業体験機会の提供により、職業訓練の推進に協力する  
■対策  
平成22年2月～  
トップによる方針の表明  
平成22年度  
各種学校および関係機関からの申し入れを若干名受け付ける  
平成22年度～  
社員へのインターンシップ受け入れの周知徹底と訓練の協力を推進する  
(飲食業 従業員約280名)

■目標  
地域における子育て支援の観点から、学校行事として工場見学を積極的に受け入れる  
■対策  
平成22年6月  
トップによる方針の表明  
平成22年7月  
受け入れに関するマニュアルを作成し、社員に周知する  
平成22年9月～  
学校からの工場見学申し込みを積極的に受け入れる  
(卸売業 従業員14名)

### 徳島県の事業所も体験学習に取組んでいます!

#### 徳島のマクドナルド・フランチャイジー 株式会社サンフォート



#### あすたむらんど徳島など公立施設の管理運営 株式会社ネオビエント

